

(海外) 国内) 出張報告書 (学生用)

2012年 11月 12日提出

氏名	千原 正尚
所属	獣医学研究科 比較形態機能学講座 解剖学教室
学年	博士課程 2年
出張先	タイ王国 プーケット県
出張期間	2012年 10月 23日～27日
目的	第4回アジア獣医解剖学会への参加・発表

活動内容 (2,000字程度、活動内容が判る様な写真や図表を加えて下さい)

アジア獣医解剖学会大会 (Asian AVA) は世界獣医解剖学会 (WAVA) のRegional Branchとして設立されたものであり、アジア地域における獣医解剖学研究の発展のみならず教育発展の地域的基盤確立も目的にしている。これまで、日本 (つくば; 第1回)、タイ (バンコク; 第2回)、韓国 (忠北大学; 第3回) で開催されており、今回申請者が参加した本学会が4回目の開催であった。第4回アジア獣医解剖学会 (タイ・カセサート大学 主催) は、2012年10月24～26日においてリゾート地として名高いタイ・プーケット島のパトンビーチで開催された (図1)。本学会には、主催国のタイをはじめ日本、韓国、フィリピンといったアジア諸国だけでなく、イラク、エジプトからの研究者も参加しており、申請者が想像していた以上に大規模なものであった。

本学会の開催期間は3日間であり、大会初日には会場のホテル内でウェルカムパーティが開催された。2日目は2題のプレナリーレクチャー (各30分) と6題の口頭発表 (各20分)、ならびに5つのセッションからなる計75題のポスターセッションが行われた。ポスター発表には2時間30分のコアタイムが設けられ、申請者も解剖・組織学のセッションにおいて「A-24 Analysis of claudin-3 expression and function during the murine spermatogenesis」という演題でポスター発表をした (図2)。セッション終了後には、懇親会が行われ、トムヤンクンなどのタイ料理を満喫するとともにタイの伝統舞踊を鑑賞することができた。3日目は2題のプレナリーレクチャーおよびアジア各国からの招待講演者による獣医解剖学教育に関するパネルディスカッションが行われ、各国の獣医解剖学教育 (特に実習の進め方や評価法について) の取り組みについて、興味深い話を聞くことができた。

申請者は、本学会における国内および海外の研究者との討論を通して、自身の研究の進行における新たな切り口を得るとともに、免疫学や胚発生等、他分野の研究における最新の知見を得ることができた。獣医解剖学は肉眼解剖学、組織学、発生学など多岐にわたる分野を担う学問であるとともに、その基礎となる形態学的な視点および

解析手法は様々な分野での研究に必要不可欠である。今回の学会において様々な研究者との議論により、改めて形態学の重要性を実感するとともに、自身も形態学的な視点から研究を遂行していけるような研究者になりたいと強く感じた。また、本学会において、アジア諸国の獣医解剖学教育事情を知ることが出来たこと、さらには他大学の先生方と交流できたことは大きな収穫であった。博士課程在籍中に、このような有意義な機会に恵まれて大変良かったと思う。



図 1. 学会会場



図 2. 参加証明書